

キャラクター名
天川 すみれ

プレイヤー名

シンドローム	オルクス ノイマン	ワークス	UGNエージェントD	カヴァー	小学生
オプション		年齢	10歳	性別	女の子
覚醒	感染	衝動	加虐	初期侵食率	34 %
出自	ブルー	経験	長靴をはいた猫	邂逅	猫の格好をした魔女

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	6
肉体	0	0	1			1	行動値	6
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	6
精神	4	0	0			4	戦闘移動	11
社会	3	1	0		4	8	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	6	
回避			知覚	1		意志	2	1	調達	2	
運転:			芸術:ファッション	2		知識:			情報: 魔女	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ドロップアウト	
命の終着点	
思い出の一品	
お子様携帯	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
実験体	P	N		
天川 恵梨花	P 尽力	N 疎外感		
立花 唯鈴	P 好奇心	N 嫌悪		
ブラック・マリーゴールド	P 連帯感	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 20 残り財産P: 18

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
アドバイス	5	4	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果: ダイス+LV クリ値-1								
戦場の魔術師	3	2	メジャー	視界	3体	自動	リミット	
効果: アドヴァイスの対象を3人に変更する。シナリオLv+1回								
導きの華	5	4	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果: 達成値Lv*2 調達判定には反映されない								
リフレックス:ノイマン	3	2	リアクション	至近	自身	-	-	
効果: クリ値を-Lv								
言葉の盾	1	1	リアクション	至近	自身	対決	-	
効果: 交渉でリアクションを行う								
束縛の領域	1	5	オート	至近	自身	対決	80%	
効果: 視界内に存在する相手が攻撃判定をした後使用可能。その達成値に対してリアクションを行い、勝利した場合判定を失敗させる。シーン1回								
運命の切り替え	2	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 対象がリアクションに失敗した相手に対して使用可能。その達成値にリアクションを行い勝利した場合リアクションに成功したことにする。シナリオLv回								
透明存在	★							
効果:								
猫の道	★							
効果:								
プロファイリング	★							
効果:								
真実告白	★							
効果:								
効果:								
効果:								

私は、本当に小さいころ。まだお母さんとかの顔を覚えているか分からない時にいなくて。そして、私は引き取られました。そこで私は分かっていたから、後ろしか向くことができなくて。そして私から避けてました。そんな私にとって。かけがえのないことは二つありました。一つはお姉ちゃんです。ずっと避けてくれていた私に声をかけて、振り向かせようとずっと頑張ってくれて。それでお姉ちゃんなんだなって……嬉しかったです。もう一つは唯鈴ちゃんのおかげです。クラスで避けていた私をずっと気にかけてくれました。そのおかげで、私は少しずつ前を向くことができました。けど、もう一つきっかけがあります。あまり良いことではありませんが……ブラック・マリーゴールド。彼女が私を色彩の勇者にしました。ちょっと学校で遅くなっちゃって、一人でお家に帰っていた時です。……あの時は、いきなり訳の分からない奴らが襲ってきたんです。後から空白の使徒って言う、敵って分かるのですが。必死に逃げました。……その時マリーが力を授けて私は彼らと戦う。色彩の勇者になりました。事情を説明してもらって、戦ってもらって決めた時……これは今でも分かりません。絶対にお姉ちゃんは色彩の勇者にしないこと。お姉ちゃんは巻き込みたくなかったから。……その時の私の顔怖かったんですかね？コクコクと首を何回も縦に振って約束を守ってくれました。そこから数か月、私は一人でずっと戦いました。だって、誰も巻き込みたくなかったから。

一人称は私。過去に実の親を亡くしており、そこ関係でどうにも一人特別視してしまう毛がある。結構ギリギリまで本音は隠し通す。しかし大切に思っている人には言われると話すところがある。大人ぶっているようにみえるが、実は結構な甘えん坊。嫌いな物は多く、そこはまだ子供が抜けていない。姉が読書モデルをやっており、その影響で声をかけられて少しやっている。と言っても基本姉と同伴だが、一人で戦っていたのは、無茶していたみたいで……色彩の勇者の時は何か体調が悪くなっていて。そこで、ある日。決定的な事があって。……戦っていた時、今まで無理していたのが重なっちゃって。空白の使徒の攻撃を食らっちゃって。その時偶然なの分からないけど、飛ばされたところにお姉ちゃんがいる。何でって思ったもん……お姉ちゃんを守るために、動こうとするけど。身体も動かなくなって、意識も朦朧としてきて……結果、マリーは勝手にお姉ちゃんを色彩の勇者にしちゃったの。